

# 針

六年

面数 10  
筆順 金針  
オン シン  
クシ はり

成り立ち



「針」の形を表し、「針」の意味だった「十」が、数の「十」の意味に使われるようになったため、数の「十」(36)と区別するために、針の材料を表した「金」を加えたものです(これと同じ例に「丁(年372)」があります。丁↓釘)。

「はり」を表した字ですが、「針のようにとがったもの」のことを「針」と言うことがあります。[例]時計や磁石の針、針葉樹。

また、「針のように」細かいもの」のことを言うことがあります。[例]針金。

使い方

▽経験の少ないわたしたちの考えには、「針の穴から天をのぞく」ような事がきつと多いにちがいないと思えます(針の穴からのぞいたのでは、広い天も狭く見えるように、狭い見識では大きな物事の判断はできない)。▽ぼくのした事を針小棒大に言うものだから、ほんとに困ってしまいました。

熟語例

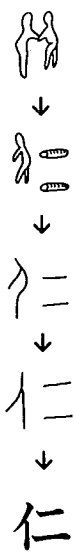
▽針小棒大(針のように小さい物を棒のように大きいと、物事を大げさに言うこと)。  
▽針葉樹(松や杉の木の葉のように、針のような葉をつける樹木のこと)。  
▽磁針(方角を知るのに使う「磁石の針」のこと。磁石は、磁針の中央に支点があつて自由に回転し、常に南北を示して静止する仕組みの器具です)。  
▽針路(船や飛行機は磁針を頼りに航路を決めますので、「進むべき方向」を針路と言います)。  
▽方針(方向を示す磁針ということで、行動のより所となるものですから、「物事の計画、実行の基本的なより所」の意味に使います)。

# 仁

六年

画数 4  
筆順 ノイ仁  
オン シン・ニ  
クシ

成り立ち



人と二とで作られた字です。「人が二人いる」ことを表したもので、「人が人に対して感ずる『親愛の情』を表した字です。『思いやりの心』『情け深い心』のことです。『大きな愛の心』。

孔子は、「道德の基本は仁にある」とし、最もりっぱな人を「仁者」とか「仁人」と言いました。それは、思いやりの心がすべての人々や生き物にまで及ぶ人のことです。

漢音はジンで、呉音はニです。カタカナの「ニ」も、ひらがなの「に」も、この「仁」から作られました。

使い方

▽「仁者は敵なし」と言われています。情け深い人に対しては、たとえ敵であつてもこれを攻撃することが出来ないからだと思います。

熟語例

▽お寺の門の両側には、仁王様の像が立っていました。  
▽仁愛(人をいつくしみ愛すること。大きな愛。思いやり)。  
[例]仁愛の心)  
▽仁慈(いつくしみ、めぐむこと)。  
▽仁者(仁の徳を身につけた人。仁を行う人。情け深い人。「仁人」とも言う)。  
▽仁術(仁を行う方法。仁の徳の行い方。[例]医は仁術なり)。  
▽仁政(人々をいつくしむ、情け深い政治。思いやりのある善い政治)。  
▽仁王(仏法を守る神。大きなお寺の門の左右にはその像が置かれています。金剛神、また、金剛力士、とも呼ばれます)。